

2015年度（平成27年度）

社会福祉法人 川崎いのちの電話 役員名

理事長 金子 圭賢

理事 安藤 義男 井田 光政 上藤ユカリ 片山世紀雄
 鎢木 昌代 瀧田 忠夫 瀧野 修 田中 幸治
 張 賢徳 北條 秀衛

監事 小山 稀世 関口 賢次

顧問 阿部 孝夫 坂本 堯

評議員 有田 茂 市川 功一 内田 勝敏 粕谷 葉子
 加藤 常代 金子 顕 金子 圭賢 清宮 慶一
 近藤八千代 今野タネ子 齊藤 準 鈴木 清
 千田 智子 瀧野 修 高木 圭 田出 亨
 棚部 哲男 百元 信一 松原 成文 三谷 浩一
 矢野 邦一 山田美和子 渡部 邦子

2015年度事業計画

30周年を迎えるにあたり、もう一度創設時の活力を甦らせ更なる30年に向けた礎を確かなものにしておくことが大切です。そのためには、みんなが意識できる目標づくりが大切と考えます。その意味で川崎センターがいのちの電話の中でお手本になるようないのちの電話を目指すことを掲げて取り組みたいと考えます。

0. 「日本一相談しやすい電話」を掲げ相談者の立場に立って

- 1) つながりやすい相談電話
 - 2) 十分に聴いてくれる相談電話
- を目指し、具体的施策を立て全体で取り組む。

1. 電話相談業務

- 1) 「電話相談員増員対策検討委員会」の具体的な計画作成
- 2) 相談員の電話相談対応の危機管理対策として第三者委員会の設置
- 3) 相談対応分析をベースにしたスキルアップ研修開始
- 4) 自死遺族ほっとラインの運用時間拡大

2. 研修会、講演会

- 1) 一般公開講座：そのほか、市民を対象に「自殺予防市民公開講座」（7月）、「こころの健康セミナー」（10月）、「きたやまおさむ講演会」（1月）を開催する。
- 2) 養成講座：今年度の30期も水曜日をベースとする（従来は木曜日開催）。
- 3) 特別研修講座：7期研修を開始するべく7月に募集を始める。
- 4) リフレッシュ研修：1日研修を11月に計画する。今回は4年目・5年目を受講必須の研修とする形態で計画する。
- 5) 義務スーパービジョン：昨年度から始めた「年間割り当て方式」で行う。

3. チャリティイベント

11月「フォレスト」コンサートをエポックなかはら、3月に落語会を実施する（エポックなかはら改装のため4月に延びる）。

4. 広報活動

広報紙は年3回発行する。新しくしたホームページで定款、事業報告、決算報告等の情報も公開。

各種団体等へ出向いて講話の会を実施し、いのちの電話の活動を紹介するとともに、募金・募集活動にもつながるよう新たに取り組みを進める。このことを行う啓蒙・啓発部隊を発足させる。

5. 委託事業

川崎市との共催事業、「こころの健康セミナー」の開催(10月)、および「自死遺族ほっとライン」の運用と利用しやすいサービス時間拡大などに取組む。

6. 助成金事業

相模原市の支援を受け、横浜いのちの電話と共同で相模原分室の開設に取組む。
共同募金で印刷機のリプレース実施に合わせ、印刷室を研修室に改造する。

7. 教育への新しい試み

- 1) 時代に合わせた新人養成研修(短期集中型をめざす)
 - 2) 定期的なレベルアップ教育
 - 3) シニアアドバイザー制度
 - 4) 研修担当者自己研鑽支援
- 具体化に向けた取り組みを進める。

8. その他

- 1) インターネット相談：川崎センターとして試行運用の開始(6月)
 - 2) 30周年記念事業：2016年12月に30周年を迎える。このことにあわせ、記念事業を計画する
- ・2017年3月で30周年記念式典を実施予定。この1年前の2016年3月に全体会(関係者全員が参加する)を計画する。